

2023年4月12日(水)第二水曜祈祷会

創世記26章1～16節

『愚かさを超える主の祝福』

■創世記25章19～34節 『アブラハムの息子イサク』

- ①イサクは40歳の時にリベカを妻として迎える。リベカはしばらく不妊の女だった。
- ②主はイサクの祈りを聞き入れ、妻リベカは身ごもり、二人の子どもを与えられる。
- ③兄エサウは狩人、弟ヤコブは天幕に住んでいた。エサウは長子の権利をヤコブに譲った。

■創世記26章1～16節 『愚かさを超える主の祝福』

1. 祝福の約束(26章1～5節) *イサクもまた飢饉という苦難の中で訓練された

①主はどのようにしてイサクに「エジプトへは下ってはならない」と言われたのですか。

→

②主はイサクにどんな祝福を約束されましたか(3つ)。

→

③主はなぜイサクを祝福されたのですか。

→

2. 繰り返される失敗(26章6～11節) *アビメレクは主を恐れる人物であった

①イサクはどんな失敗をしましたか。理由はなぜですか。

→

②イサクが父アブラハムと同じ失敗をしたことから何がわかりますか。

→

③アビメレクがイサクの嘘に気づいたのは偶然ですか。

→

3. 祝福と試練(26章12～16節) *

①主はイサクをどのように祝福されましたか。

→

②飢饉の中で、イサクはどのようにして裕福になったのですか。

→

③イサクは裕福になった結果どうなりましたか。

→

【適用と分かち合い】

- ①イサクは主の祝福の言葉(3、5節)を聞いてどう思いましたか。
- ②イサクは自分の嘘がアビメレクに知られてどう思いましたか。
- ③私たちはキリストにあってどんな祝福にあずかっていますか。